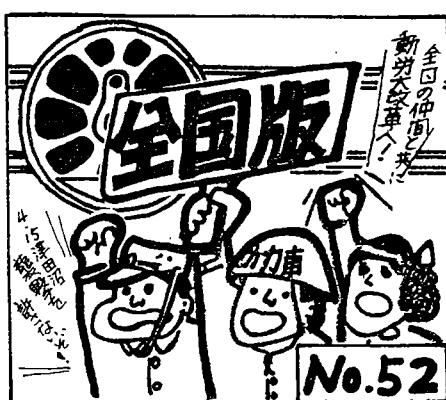


80.5.18
全国版
No. 52

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電二三五八九・公衆22)七二〇七



「組合費裁判」第一回公判開かる

※※※※※※※
「組合費訴訟」第二回公判は、五月十五日、十六時より東京地裁民事十一部において開催されました。そもそも動労「本部」を原告とするこの「組合費訴訟」そのものが自らなし得なかつた動労千葉の組織破壊攻撃を権力・裁判所に訴え、弾圧を要請するという不正義ゆえに、動労千葉の正々堂々たる追及の前に「本部」反動分子は、常ににげごしの態度に終始しているのが実態です。

求証明でさらに「本部」を追及！

約二十分钟で閉廷し、東京弁護士会館で待機していた傍聴動員者と合流し、総括集会を開催しました。

弁護団より、公判の特徴点と今後の決意がのべられ、十七時すぎ、終了しました。

千葉地本は、存在するし、十一支部も存在する。しかし、三役は、「存在しない」と全くわけのわからぬことをいい出し、裁判長からの質問にもまともに答えられず、自ら裁判所に訴えた「訴

状」の根拠が全くデタラメであることが暴露され、ただただ動労千葉に対する組織破壊攻撃のためにのみ裁判を起したことが早くも第一回公判から明らかとなっていました。

動労「本部」は、こうした前回公判における自らの失態と不正義性ゆえに第二回公判において、動労千葉の追及と証明要求に対し、「証明書を提出してある」とか「証明する必要なし」といいつつ、公判廷における口頭での説明や証明をなんとかのがれようとしてきました。

しかし、動労千葉は、全支部から約百名の傍聴動員をかちとりつつ、原告である動労「本部」側が前回公判に引き続いて提出してきた証明に対し、など十項目にのぼる追加証明を要求して「本部」側をするどく追及しました。

「本部」の不正義性とデータ
ラメをさらに追及しよう！

こうして、十六時から始まつた第二回公判は、千葉地本選出中央委員の選出はどうなつているのか」「三役・執行委員の存在しない千葉地本といかかる組織・集団なのか」「脱退別労組別労千葉、任意脱退を認めるとすれば脱退者に対し、何故、その後、除名処分をしたのか」など十項目にのぼる追加証明を要求して「本部」側をするどく追及しました。

「本部」の不正義性とデータ
ラメをさらに追及しよう！

こうして、十六時から始まつた第二回公判は、

うではありませんか。

動労「本部」革マル反動分子の暴力的組合支配を断固はねのけ、わが動労千葉とともに前進しよ

三里塚・ジエット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

動労千葉のするどい追及に 終始にげごしの「本部」？

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！